

ボランティア通信

令和4年12月発行

天塩町ボランティア連絡協議会事務局

社会福祉法人 天塩町社会福祉協議会

☎2-3201 ㊟9-2800



「災害の備え」と

「ボランティア全国フォーラム2022」



11月18日(日) 登録ボランティア向けの研修会を行いました。

まずは、「災害の備え」というテーマで、当会副会長でもある日本赤十字社北海道支部 赤十字奉仕団指導講師の河瀬克英さんが講師となり、体験に基づいた備蓄品についてなどを学びました。後半は「ボランティア全国フォーラム2022」にオンライン参加をし、世界から見る日本のボランティア事情などを知ることができました。長時間の研修会となりましたが、参加者は熱心に耳を傾けていました。



「留萌地区ボラネット・スキルアップ事業」

10月22日(土) 3年ぶりに再開された本事業では、新型コロナウイルス感染拡大により活動の休止や規模縮小が余儀なくされている状況で、ボランティア活動を行う際の感染予防対策について学ぶとともに、活動を継続していくためにはどうしたら良いかを考えることを目的として開催されました。当会からは6名が参加しました。



配食ボランティア募集中

利用者様のお宅へ17時頃にお弁当の配達と安否確認をしていただくボランティアです。週1回から可能。ガソリン代として1個につき100円の実費弁償がございます。

ボランティア活動報告

老人クラブ連合会環境整備ボランティア

毎年春と秋の年2回、老人クラブ連合会では、天塩町老人福祉センター周辺の草刈りを行っています。自宅から機械を持ち出し、切った草の廃棄まで行っています。たくさんの高齢者が集まるセンターでは、安全に利用が出来るようになります。



天塩小学校運動会の前には、除草ボランティアを行いました。かわいい児童さんの練習風景に癒されながら作業をしました。

天塩高校ボランティアクラブ

赤い羽根街頭募金

感染症拡大防止対策により3年ぶりとなった街頭募金活動ですが、放課後、寒空の中、積極的に活動を行いました。天塩の風は強くて、赤い羽根が飛んでしまうハプニングもありましたが、地域に役立つ活動を再開できましたこと、皆さまのご協力に、感謝申し上げます。



オンラインでも
天塩町を選んで
寄付ができます



天塩町母子寡婦会古布切りボランティア

母子会では、恵愛荘で使用する古布を切るボランティア活動を定期的に行っています。今年も感染症拡大防止のため、ふれあいセンターを使って活動を行いました。ご利用者様が心地良いう、介護員さんが使いやすいよう、心を込めて作業をしました。

